

2022.05.24.tuesday

学修・教育開発センター (CRED)



## 授業の様子

「東京家政大学の歴史から学び、未来を創る」パートについてのご報告

今回は第3回〜第7回で実施する「東京家政大学の歴史から学び、未来を創るパート」の授業の様子と計画についてお知らせします。

第3回(4/28)では、各学科の代表者を選出し、自分の所属学科(専攻)について、代表者が発表し、本学の個性と持ち味について考え、自分なりに明確化してまとめました。

第4回(5/12)では、事前課題で現在の社会状況や若い世代がおかれた状況に関する資料を読んできた上で、「SAがどのような思いで、本学で学んでいるか」の発表を聞き、自身の4年間の学びの見通しを持つことが目的です。こちらは次号で詳しく紹介します。

第5回(5/19)では、ジグソー法を用いて、資料を基に本学の開学期の状況について話し合いました。各チームから「本学が開学された理由」と「開学期の学生たちが大学のことをどのように捉えていたのか」を発表し、当時の学生の思

いを追体験することで、前例がなく先が見えない時代にどのように前を向くのか、生き方について共感的に考えました。

続く、第6回(5/26)でもジグソー法を用いて、資料を基に本学の端緒をなす明治・大正期の和洋裁縫伝習所、東京裁縫女学校、東京女子専門学校がなぜ設置されたか、当時の状況について話し合い、理解を深める内容となります。

パートの最終回となる第7回(6/2)は「未来編」として、第3〜6回の学修成果を踏まえ、本学の特色を活かした研究テーマをチームで創出します。現実の社会、生活と繋がる分野を広く網羅している点が本学の特徴であることを理解し、自身のキャリアイメージと関連させながら、本学での学修に対する姿勢を確立することが目的です。

新入生は授業が開始してから1ヶ月が過ぎ、最初は緊張が見られたチームでの意見交換や発表の時間も慣れてきた様子でした。



Report

14

## 教員からのレポート

「学生の力を引き出すためには…?」

初めて授業を担当するにあたり、事前研修では『協同学習には丁寧な準備が必要であること』を学びました。そして授業が始まった今、学生が協同学習の土台である『話を聴く』こと、『目的を持って話し合いをする』ことができるように、試行錯誤しています。

授業開始当初、5〜6人チームで概ね一回20分の話し合いをすることは容易であると考えていました。しかし実際には、意見をまとめることを優先するあまり、話し合いが簡単に終わる様子がありました。改めて協同学習(話し合い)に

は、目的の共有や段階的な議論の進め方など、教員が共通指導案の内容を丁寧に読み解き、行間を埋める準備が必要であることを痛感しました。

学生は、進め方の工夫や少しの助言で、回を重ねるごとに自分達の力で協同学習を進めることができるようになりました。第3回授業の学科紹介では、SA学生の助言により、発表資料を用意するなど、各学科・専攻の学生の持ち味が発揮された大変魅力的な発表内容になりました。今後も学生が力を発揮して、協同学習が充実するように努めていきたいです。



鈴木 彬子 講師

家政学部  
児童学科

# 授業の感想を紹介します

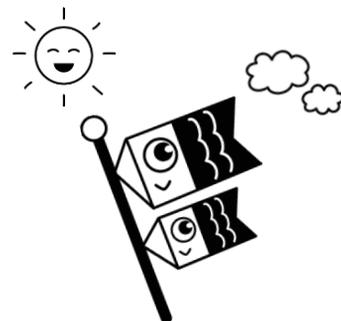
履修生の中で各学科・専攻ごとに1名代表者を決めて、代表者は3分で自分の学科（専攻）の特徴をクラス全体に授業で発表しました。発表を聞き終え、「東京家政大学はどのような大学だと考えたか」の問いに対し寄せられた新入生の回答を紹介します。

- 全体的に実習や実験などの、経験を積める授業が多く取り入れられていた。座学だけでなく、そのような実践的な授業を取り入れることで、学びの定着を図り、実体験に基づく気付きを得られる大学であると考えた。また、グループワークなどのアクティブラーニングを積極的に授業に取り入れることで、社会性を育み、将来の学生の自主自律を促しているのではないかと考えた。
- 様々な資格が取得できるため、みんなが同じように全力で頑張っている空間だと思った。目指したい資格や職業を明確にして入学してきた人はもちろんだが、なんとなく興味があるから入学したという人にも興味をひきつけ、学びやすい環境が整えられていると実感した。色々な学科の人達が集まり、話すことで多角的な考え方ができるようになるのも特徴のひとつだと考える。
- 東京家政大学は実習が充実していて、専門的な知識を多く身に付けられる学校だと思いました。また、教員を目指す学科が多かったり、そのほかにも学科ごとに特色のある資格がたくさん取れると感じました。勉強面で充実しているだけでなく、先生方や生徒が優しい方が多く、雰囲気もとてもいい学校です!!
- 「専門の仕事以外でも役立つことを学べる」と言っていた学生がいたことが印象に残った。専門性の高い分野だけでなく、応用することができる知識も身に付けられることは、生涯に渡って活かせる大きな財産だと考える。自主自律を掲げ、明治時代から女性のより良い生き方を追求し続けた東京家政大学の大きな特徴だと考える。
- 各学科・専攻の代表者の話を聞き、東京家政大学には多種多様な学科が存在するため、それぞれが多彩な専門分野を学び、それらを活かした資格を得ることができる大学だと改めて考えた。自分が所属している学科以外の特徴を詳しく知り、どの学科も卒業後の進路が幅広く、選択肢が多いということも共通していると気づいた。また、授業だけではなく施設も充実しており、実践的な授業が多いため、将来さまざまな現場で臨機応変に対応できる力を身につくことができていると感じている。さらに、この授業のような他学科と交流できる授業があることも特徴の一つだと思う。新たな知識を得ることで学びが深まり、よい刺激となっている。東京家政大学への入学者は、どの学科も将来の夢や目標が明確な人が多いため、人間関係も良好で積極的に学びを深めることができると感じた。

## お知らせ

授業についてのご質問やご感想をお待ちしております

スタートアップセミナー自主自律は毎年の授業実践を得て改訂を続けています。授業についてのご質問や、実際に授業を受けてみての感想などがございましたら是非お気軽に下記問い合わせ先までお寄せください。お待ちしております。



スタートアップセミナー自主自律に関する問い合わせ先

学修・教育開発センター（板橋校舎 百周年記念館1階）

TEL : 03-3961-0284 E-mail : startup@tokyo-kasei.ac.jp